

横浜市立市民病院訓練と初合同開催！！

『保土ヶ谷区災害医療検証訓練』 を実施します！

保土ヶ谷区内で震度 6 弱以上の地震が観測された場合に、医師・薬剤師・看護師（Y ナース）等で編成される医療救護隊による、災害医療検証訓練を地域防災拠点の訓練と連携して実施します。

訓練では、地域防災拠点において、負傷者の状況把握や軽症者等の応急医療を行うとともに、より発災時に近い状況を想定し、災害拠点病院である市民病院と合同で重症患者の搬送・受入訓練を行います。

1 実施日時

平成 28 年 11 月 13 日（日）
午前 8 時 45 分から午前 11 時まで
（市民病院は午前 11 時 45 分まで）

2 実施場所

聖隷横浜病院、横浜保土ヶ谷中央病院、
横浜市立瀬戸ヶ谷小学校、横浜市立西谷中学校、
横浜市立市民病院、保土ヶ谷区役所 他



【参考：一昨年の訓練の様子】

3 訓練参加機関

保土ヶ谷区医師会、保土ヶ谷区薬剤師会、保土ヶ谷区歯科医師会
Y ナース*¹、瀬戸ヶ谷小学校地域防災拠点運営委員会、西谷中学校地域防災拠点運営委員会、
聖隷横浜病院*²、横浜保土ヶ谷中央病院*²、横浜市立市民病院*³、岩崎地域ケアプラザ、
川島地域ケアプラザ、地域住民の方々

※1 大震災発生時に、横浜市防災計画に基づく「医療救護隊」として活動する看護職。

※2 区内 5 か所ある医療救護隊参集拠点であるサテライトに指定されています。また、災害時救急病院でもあります。

※3 市内に 13 か所ある災害拠点病院（災害時に重症者等を受け入れる病院）に指定されています。



裏面あり

4 訓練概要

- (1) 医療救護隊参集拠点（サテライト）にて医療救護隊の立ち上げ
- (2) 医療救護隊が地域防災拠点まで医療資器材を持って徒歩で向かう
- (3) 地域防災拠点訓練にて、横浜市の医療体制について地域住民へ説明
- (4) 医療救護隊訓練(重症者判断、災害拠点病院との受入調整、通信訓練、軽症者の手当て 等)
- (5) 市民病院（災害拠点病院）への重症患者の搬送及び市民病院での受入訓練<新規>
- (6) 地域ケアプラザ（特別避難場所）との情報伝達訓練

◇訓練の模擬患者役には、近隣住民の方にご協力いただきます。

5 スケジュール

時間	地域防災拠点 (西谷中)	地域防災拠点 (瀬戸ヶ谷小)	サテライト (横浜保土ヶ谷 中央病院)	サテライト (聖隷横浜病院)	市民病院
8:55			医療救護隊結成・出発準備		
9:15			西谷中へ出発 (徒歩)	瀬戸ヶ谷小へ出発 (徒歩)	災害対策本部 訓練開始
9:50	医療救護隊到着				トリアージエリア設営 指揮所設置
10:00	防災拠点訓練開始				負傷者受入訓練開始
10:20	負傷者診察 サテライトとの通信訓練 (重症者搬送調整)		担当拠点との通信訓練 (重症者搬送調整)		区本部との通信訓練 (重症者受入決定) (透析患者搬送調整)
			区本部との通信訓練 (重症者受入調整)		
10:30	DMATカーによる 重症者搬送 →市民病院	救急車による 重症者搬送 →市民病院			
11:00	防災拠点訓練終了				防災拠点からの 重症者受入訓練
11:10					災害時救急病院への 透析患者搬送訓練
11:45					訓練終了

6 取材について

取材していただける場合は、平成28年11月10日(木)午後5時までに、保土ヶ谷区福祉保健課までご連絡ください。



お問合せ先			
保土ヶ谷区役所福祉保健課長	吉富 秀一	TEL 045-334-6350	
医療局病院経営本部市民病院総務課長	川崎 洋和	TEL 045-331-7721	